

～今月の読み物～

速い！強い！きれい！ 女子プロレスを観戦する

梨畑長十郎

みんな、ニコニコ楽しそう。仕事を終えて満員電車で揺られお疲れのはずなのに。などと列に並びながら思っているうちに開場の6時30分になった。気が付くと長蛇の列、すごい人気だ。

ここは「新木場 1st RING」。今や全国いや世界中のプロレスラーやファンが注目する人気会場となり間もなく10周年を迎えるそうだ。一歩会場に入ると照明に光るリングが存在感を示し、何だかドキドキ・ワクワク興奮してきた。南雑段自由席中央に陣取りまずは缶ビールを一口。女子の大会とあってお客さんは7割が男性。やや年齢は高いが熱心なファンだ。リングサイドでは選手達がグッズを販売していて、ファンと話したりサインをTシャツにして買ってもらったり、ツーショット写真を撮るなどと交流している。この会場ならではの光景で微笑ましい。おだやかな一時だ。

いよいよ試合開始のアナウンスがあると空気は一変し、戦いムードがムンムン。リングアナウンサーのコールに合わせて、入場する選手にスポットライトが当たりロープをまたぎマットに入ると同時に、コスチュームと同色の紙テープが舞い飛び、青・赤両コーナーへと向かう。改めてリングネームで呼ばれると、ファイティングポーズを決める。カッコイ～！レスラーにとってもこの瞬間が生き甲斐なのだろう。



開場を待つ長蛇の列。すごい人気



新木場 1stRING



リングサイドでは、選手達がグッズ販売等でファンと交流をしている



試合開始前、紙テープが舞い飛ぶ

ゴングの音が鳴り止まぬうちに飛び出した選手が、組み合ったり、投げ飛ばすやら、はたまたコーナーポストに登りトップの位置から、マットに横になっている選手めがけて飛び降り一撃を加えた後もさらにチョップをくわしたりと、凄すぎてもう書けない。キャーとかこの野郎とか叫んで男勝りの迫力。やられたらやり返す、痛くても堪える、カウント^フ2で根性で肩をあげる。何度でも頑張る。これはスゲーと感心しているうちに、ビールが熱気で温くなってきた。

15分一本勝負。あたりまえだが決着がつく。勝者はレフリーに片手を上げてもらい強さをアピールし、一方敗者は力尽きて立ち上がれない。両者共良くやった。ナイスファイト！ファンの拍手は温かい。小生も思わず拍手を送った。不思議と素直な気持ちだった。

次々と個性的で魅力的な選手達がリングへ登場して来る。長身で細身、ガッチと太め、背が低く小柄まるで中学生。しかしながらやっぱりプロレスラー。鍛え抜いた体、割れている腹、ポパイの様な腕、ただ者ではない。でもみんな美人でかわいい。何食べてるんだろう？最初は一戦交えたら勝てるカモと思ったりしたがとても無理。15分全力で戦う体力・根性、とつてもかありません。参りました。そんな選手達も連戦の為か、テーピングやサポーターが目立った。やっぱり生身の女性なんですね。ケガをしないでもっと強くなって又楽しませて下さい。

全5試合を観戦して、元気をもらいました。女子でもあれだけやれるんだから、木場の男は根性だけでも負けられない。
勇気をありがとう！

真夏の様な熱気の会場を出ると夜風が心地良い。楽しい一晩でした。
俺も毎日格闘木
365日一本勝負！



試合開始前の両選手握手



迫力満点のキック！痛そう



真剣勝負の試合中。選手はみんな美人でかわいい



全試合が終わり記念撮影。女子選手から元気と勇気を貰いました